

発達につまずきのある子の理解に役立つ

感覚統合理論

3・4・5歳児の保育、小学校館、
2010年12月号

木村順先生

作業療法士。日本福祉大学等、福祉・医療系の大学で学ぶ。現在、療育塾「ドリームタイム」での実践や相談、講演会の講師を行う。著書に『育てにいい子にはわけがある』等。

一二美先生

三四子先生の後輩。

三四子先生

保育理念の重要性に目覚め、独自に勉強中の保育者。

「思想」とはちょっとおもむきが違うけれど、保育の知識として知っておきたい「感覚統合理論」。『育ちにちょっと心配が…』と感じる子の「どうしてそうなってしまったのか」が見えてくる理論ですよ。

作/大枝桂子



さて、コップの水を飲むときですが、私たち「感覚」を頼りに動きます。コップを見て、そこまで手を動かし、それを握り、口に運ぶ。実はこのとき、一般に知られる五感以外に、重要な感覚を使っているんですよ。

その「感覚統合」とは、さつそく、身体反応、知覚、感情、思考を生み出すように、入ってきた感覚刺激を、「脳」が整理するプロセスと説明しています。

エアーズは、「有効な激を整理する間断なく入ってくる膨大な感覚刺激」

(コップを持ち上げる感覚→持ち上がった感覚→さらに持ち上げる感覚→さらに持ち上がった感覚→さらに…さらに…水が重くなるのが見える→水が重くなるのが見える→さらに…さらに…空気の匂いが見える→空気の匂いが見える→コップの重さを感じている→コップの重さを感じているetc etc etc…)

木村順先生

作業療法士。日本福祉大学等、福祉・医療系の大学で学ぶ。現在、療育塾「ドリームタイム」での実践や相談、講演会の講師を行う。著書に『育てにいい子にはわけがある』等。



その感覚とは、【固有覚】(深部感覚)、【触覚】(表在感覚)、【平衡感覚】の3つ。普段、私たちはほぼ無意識にこれらを使っています。そのため、それらにトラブルがつくとも理解しにくいんです。

でも、見てるのにぶつかったとしたら? ああ、目のせいだわ! 不注意

でも、見てるのにぶつかったとしたら? ああ、目のせいだわ!

もし、目の見えない子がバーにぶつかったら? ああ、障害のせいだわ!

感覚刺激

交通整理にたとえると、信号機で車の流れを切り換えたり、歩道で人と車の流れを分けて事故を防ぐのと似ています。それがうまくいかないと――

一二美先生

三四子先生の後輩。

三四子先生

保育理念の重要性に目覚め、独自に勉強中の保育者。



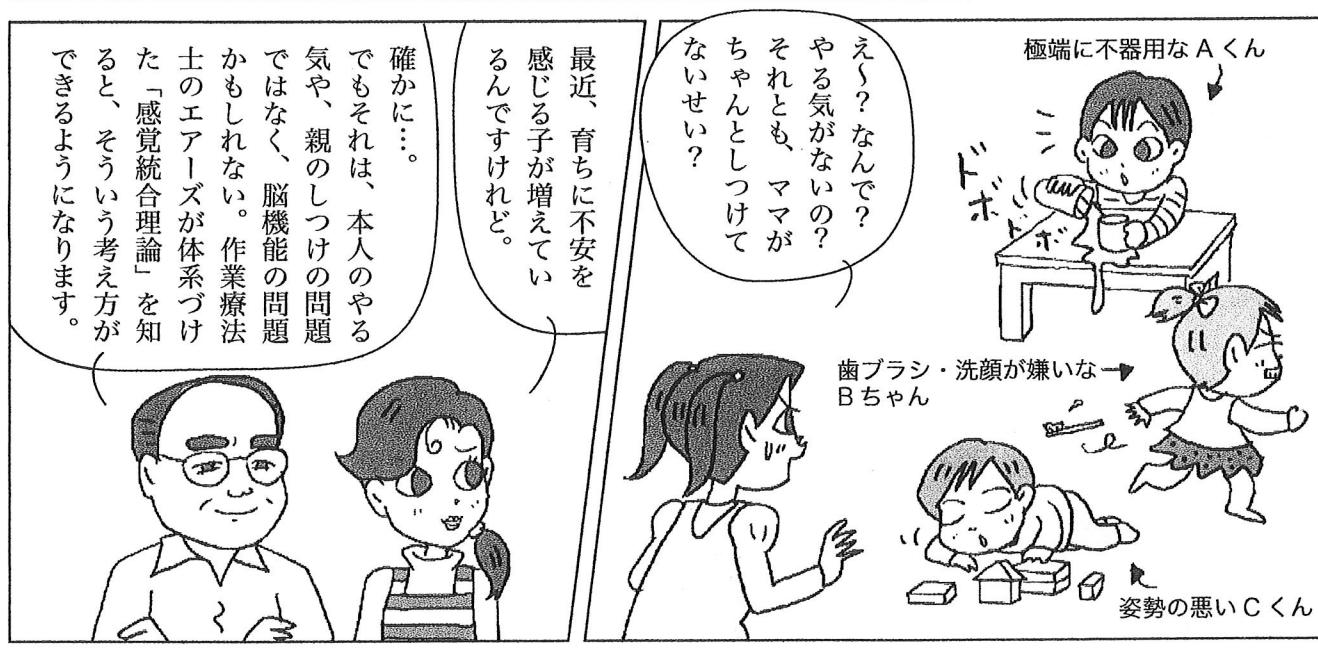
では、やはり目をつぶり、右と左に本を乗せて: どちらが重たいか分かりますか? な、何と? な、何と? な、何と?

1 固有覚 手足・体を動かすとき、「運動器」の中で働く感覚

固有覚・触覚・平衡感覚。この3つの感覚について知ることが、感覚統合理解の第一歩! 順に見てていきましょう。

木村順先生

作業療法士。日本福祉大学等、福祉・医療系の大学で学ぶ。現在、療育塾「ドリームタイム」での実践や相談、講演会の講師を行う。著書に『育てにいい子にはわけがある』等。



え? なんですか? やる気がないの? ちゃんとしつけてないせい?

確かに…。でもそれは、本人のやる気や、親のしつけの問題ではなく、脳機能の問題。エアーズが体系づけた「感覚統合理論」を知ると、そういう考え方ができるようになります。

最近、育ちに不安を感じる子が増えているけれど、確かに…。でもそれは、本人のやる気や、親のしつけの問題ではなく、脳機能の問題。エアーズが体系づけた「感覚統合理論」を知ると、そういう考え方ができるようになります。

アーノード・フォルニアの農家に生まれました。アーノード・フォルニアは南カリ福島でOTの修士号、教育心理学の博士号をとりましたが、学習障害(LD)を神経生理学の立場から研究していましたが、感覚統合理論に至りました。アーノード・フォルニアは南カリ福島でOTの修士号、教育心理学の博士号をとりましたが、学習障害(LD)を神経生理学の立場から研究していましたが、感覚統合理論に至りました。

アーノード・フォルニアは南カリ福島でOTの修士号、教育心理学の博士号をとりましたが、学習障害(LD)を神経生理学の立場から研究していましたが、感覚統合理論に至りました。

A.Jean Ayres (1920~1989)

アメリカ・カリフォルニア生まれの作業療法士(OT)、教育心理学博士。UCLAの脳研究所に勤務する中、感覚統合理論を体系づけた。1976年、子どもの感覚統合療法を行なうクリニックを設立。

その「何となく」使っているのが、【固有覚】です。

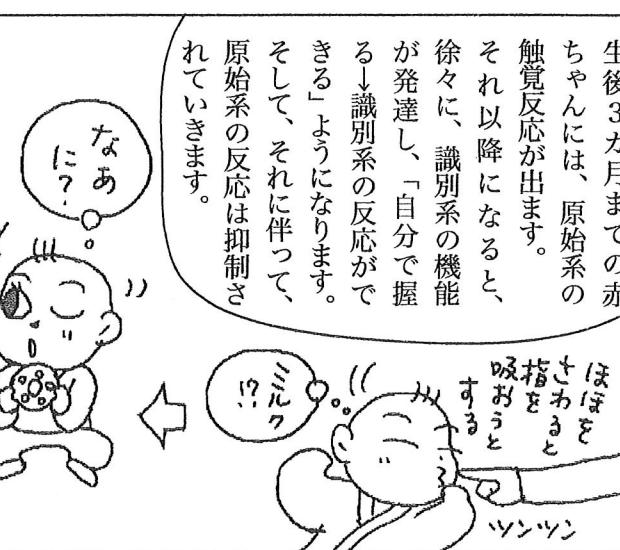
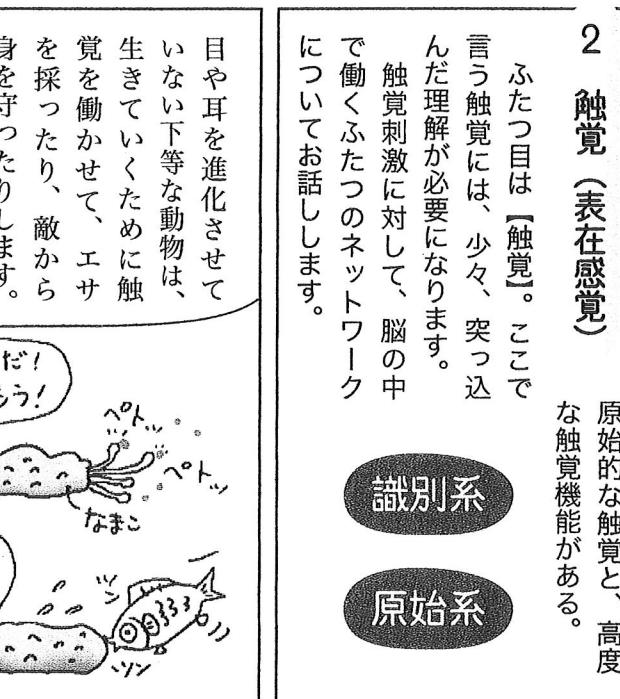
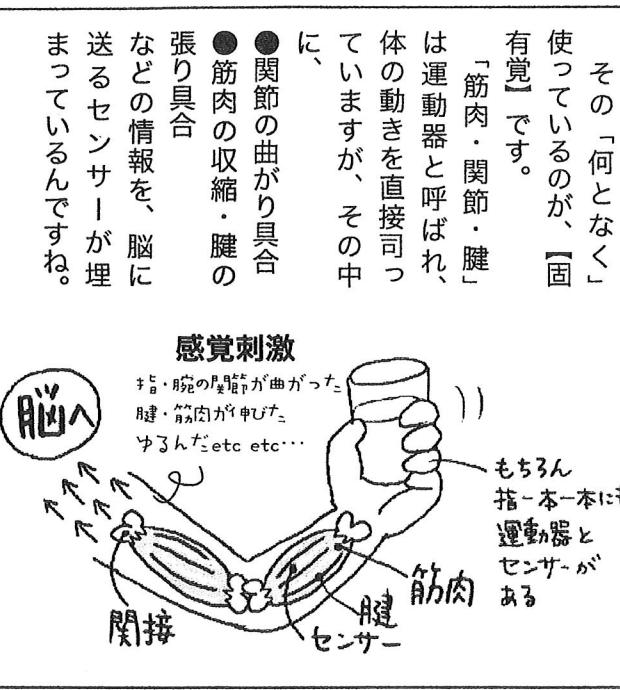
「筋肉・関節・腱」は運動器と呼ばれ、体の動きを直接司っていますが、その中に、

● 関節の曲がり具合 張り具合 ● 筋肉の収縮・腱の張り具合などの情報を、脳に送るセンサーが埋まっているんですね。

2 触覚（表在感覚）

原始的な触覚と、高度な触覚機能がある。

言う触覚には、少々、突っ込んだ理解が必要になります。触覚刺激に対して、脳の中で働くふたつのネットワークについてお話しします。



平衡感覚

3つ目の感覚は

「平衡感覚」。

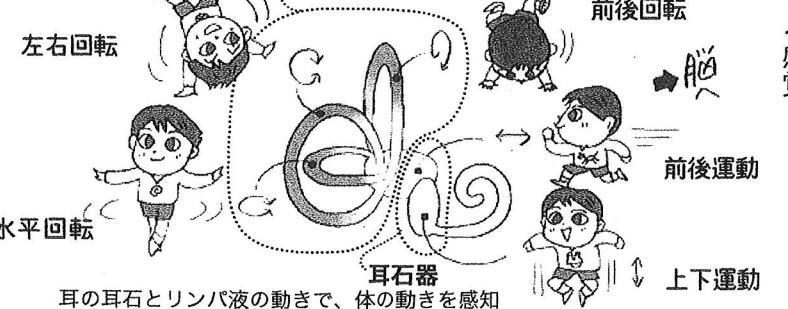
平衡感覚の刺激セ
ンサーは、耳の奥に
ある三半規管や耳石
器。それぞれ特定の
方向の動きをキャッ
チし、その刺激を受
けとった脳が、「運
動器」などにバランス
を保つ動きをする
よう指示します。

重力や体の動き・加速度を
感知する感覚

以上のように、固
有覚は「肢体の位
置や筋緊張、力加
減」、触覚は「肢体
の輪郭やサイズ」、
平衡感覚は「姿勢
や、運動のスピード
や方向」等の情
報を脳に送ります。
そして、これらの
感覚情報が脳で統
合されることで、人
は適切に動ける
のですね。

しかし、これらの
平衡感覚のセン
サーが正常に働い
ていても、受けと
める脳の交通整理
ができないと、特
定の動きに弱かつ
たりすることがあ
ります。

三半規管
半規管の中のリン
パの流れで、体の
動きを感知



耳の耳石とリンパ液の動きで、体の動きを感じ

押された瞬間、体
は傾いていますが、
頭部は垂直を保つ
ています。地球の
引力の方向がずれ
たのを平衡感覚セ
ンサーがキャッチ
し、頭が倒れない
よう、首の筋に反
応させたのです。

また、重要な「姿
勢の保持」にも
かかわっている
んですよ。ちょっと実験し
てみましょう。

あるいは、落ち
着きがない子は、
平衡感覚刺激が
足りないと脳が
感じて、動き回つ
たりするのかも
しませんね。



これは、頭部の動き（平
衡感覚の情報）に合わせ、
眼球を動かす回路にス
イッチが入り、目の向き
が調整されるから。
目の動きを伴う活動に弱
い子は、平衡感覚の統合
に問題がある、追視な
どができないのかもしれ
ないです。

また、平衡感覚は
「目の動き」とも深
く関わっています。
本を読むとき、本
を動かすと大変読
みにくいですが、
頭を左右に動かし
た場合には読めま
すよね？

このように姿勢の保
持は、平衡感覚がキヤツ
チした重力の方向をも
とに、脳が身体の位置
を調整している結果で
すが、もし、その機能
に問題があつたらどう
でしよう？



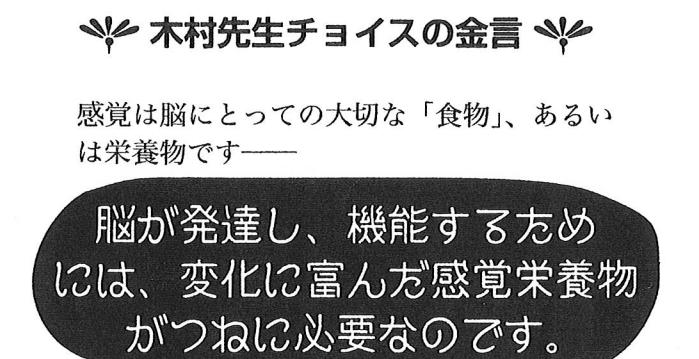
ここに掲載できなかつた「保育思想」のこばれ話を、小学館のホームページ『保育ネット』で公開しています。順次配信しますので、見てくださいね。



その感覚統合は、
7歳頃まで活発に
発達し続け、自分
の体に対する実感
(ボディイメージ)
を形成します。



形成が進むにつれ
ようになり、集中
力や自信、思考力
も育っていくんで
すよ。



脳が発達し、機能するため
には、変化に富んだ感覚栄養物
がつねに必要なのです。

参考:『子どもの発達と感覚統合』A・ジーン・エーズ著(協同医書出版社)

読み書き計算は
「基礎」じゃないのよ。
感覚運動能力が、
真の「基礎」なのよ！

